

水害対策に関する小杉駅周辺高層マンション地域の要望書

2020年1月21日

川崎市 市長 福田紀彦様

NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメント
理事長 安藤 均
パークシティ武蔵小杉ステーションフォレストタワー管理組合
理事長 吉水 正尚
パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー管理組合法人
代表理事 松尾 恵司
パークシティ武蔵小杉ザ グランドウイングタワー管理組合
理事長 針谷 宜彦
レジデンス・ザ・武蔵小杉管理組合
理事長
THE KOSUGI TOWER 管理組合
理事長 星野 正樹
リエトコート武蔵小杉 イーストタワー部会
部会長
リエトコート武蔵小杉 ザ・クラッシタワー部会
部会長
エクラスタワー武蔵小杉管理組合
理事長
セントア武蔵小杉管理組合
理事長 辨崎 弘敏
パークシティ武蔵小杉 ザ ガーデンタワーズイースト管理組合
理事長 福島 敬司
パークシティ武蔵小杉 ザ ガーデンタワーズウエスト管理組合
理事長 西上 繁
シティータワー武蔵小杉管理組合
理事長 柿本 岳文

武蔵小杉駅周辺では、台風 19 号による道路の冠水やマンションの地下階への浸水など甚大な被害を受けました。

各マンションではそれぞれ自衛策を講じますが、それと共に川崎市行政による水害を二度と起こさないという観点に立った未然防止のための施策の推進、および再度水害が発生した場合の迅速かつ適切な対応について、以下の通り要望致します。

特に以下に示す 5 つの重要要望項目については、前向きに検討いただき、必ず下記に示す期限までにご回答いただきたく存じます。その他の要望事項に関しても、優先度に応じて併せてご回答と対応いただきたくご協力お願いいたします。

(回答期限)2020年3月31日

(本件に関する連絡先)

NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメント

理事長:安藤均

電話 : 044-819-5888

重要要望事項

1. 樋門の逆流防止策の検討、及び実施 (No.1,2,3,11 参照)

- a. 樋門の開閉は逆流を起こさない事を最優先に運用を行う。
この大原則に則り、手順書の改訂をしていただきたい。
- b. 逆流と水位差を検知できるシステムを設置し樋門を確実に開閉する手立てを講じ、多摩川からの逆流を完全に防いでいただきたい。
- c. 要望事項詳細に示す対策案を参考にして、川崎市にて雨水による内水氾濫リスクの最小化を含む水害対策を検討し実施してください。

2. マンション住民も含めた周辺住民への緊急連絡 (No.17 参照)

樋門閉鎖告知が周辺町内会へはありましたが、町内会に加入していない高層マンションへの告知はありませんでした。

今後は樋門閉鎖の有無、及び樋門内地側の大気圧下での水位の情報を、適時に広くマンション住民含む周辺住民に告知できる緊急連絡手段を確立していただきたい。

3. 高層マンション住民の避難場所の確保と現状の避難所総点検 (No.7,8 参照)

高層マンションにおいても居住不可能になる場合があることが明らかになりました。高層マンション住民の避難場所が確保されていないので、確保していただきたい。

また、現在ある避難所は水害時を想定した避難所環境が整備されていません。併せて総点検していただきたい。

4. JR 武蔵小杉駅横須賀線口の冠水対策の検討と実施 (No.4,12,21 参照)

横須賀線口周辺は冠水リスクが非常に高く、抜本的な対策が必要。

2023年完成予定のホーム新設と新改札口設置のタイミングに合わせ、雨水貯留槽やポンプ、新たな樋管の設置などの恒久対策を実施していただきたい。

まずはその計画の方針を2020年3月までに決定し、4月から実行計画の詳細を作成し実施していただきたい。

5. マンション予備電源/ポンプ 高層階への移設/増設費用補助 (No.18 参照)

国が検討中のガイドラインに沿って早急な補助金交付が実現するよう推進していただきたい。

要望事項 一覧表		優先度		
		緊急 (2020 3月まで)	短期 (2020 7月まで)	長期 (2021~2022)
要望	ハード領域 設備 投資 メンテ	1. 樋管内の順流/逆流を検知する流速モニター 2. 樋門閉鎖後の樋門内外の水圧差測定モニター (水圧計または大気圧下での水位計) 3. 樋門閉鎖に12Hかかった原因と対策 4. JR横須賀線口冠水対策方針決定	12. JR横須賀線口冠水暫定対策 計画と実施 13. 排水用ポンプ設置 (氾濫のあった5/17箇所) 14. 樋門監視カメラの設置 15. 下水道管の清掃 16. 樋門監視操作環境整備	21. JR横須賀線口冠水恒久対策 22. 樋管バイパス設置 23. 貯留管新設/増設 24. 樋門自動開閉装置設置 25. 貯留池新設 26. 下水道管の増設/改良 27. 丸子ポンプ場の雨水排水 能力の向上
	ソフト領域 ルール 体制 政治 訓練 システム	5. 第三者検証委員会設置と根本原因究明 6. 災害後の公道/私道の消毒・清掃体制構築 7. 現在の避難所見直し(場所・管理・誘導・備品) 8. マンション住民用の避難所確保 9. 樋門閉鎖時の内水氾濫シミュレーション 10. ハザードマップの改訂 11. 樋門開閉操作判断基準改訂	17. マンション住民も含めた周辺住民 への緊急連絡手段の確立 (樋門閉鎖と水位の告知) 18. マンション予備電源/ポンプ 高層階への移設/増設費用補助 19. 小河内ダム放流連絡後の 樋門閉鎖手順ルール作成 20. 台風襲来時の小河内ダムの 事前放流の要請	28. 川崎市から国交省へ要望 多摩川の浚渫(しゅんせつ)

No.	要望項目	優先度
1.	樋管内の順流/逆流を検知する流速モニター 逆流の場合、水門を閉鎖する、そのための判定機器を設置して欲しい	緊急
2.	樋門閉鎖後の樋門内外の水圧差測定モニター (水圧計または大気圧下での水位計) 樋門閉鎖後、樋門内地側の雨水水圧と多摩川水圧差を判定し、水門開放の判断材料の機器を設置して欲しい	緊急
3.	樋門閉鎖に12Hかかった原因と対策 平常時と台風時の相違点を分析し、樋門動作不良の対策を実施して欲しい	緊急
4.	JR横須賀線口冠水対策方針決定 雨水貯留槽やポンプ、新たな樋管の設置などの恒久対策を実施していただきたい まずはその計画の方針を2020年3月までに決定していただきたい	緊急
5.	第三者検証委員会設置と根本原因究明 内水氾濫のメカニズム解明とその対策を客観的に第三者交えて行って欲しい	緊急
6.	災害時の公道/私道の消毒と清掃体制構築 合流式の下水道から内水氾濫したら速やかに川崎市の責任において公道/私道の清掃と消毒を実施できるよう台風直撃前から事前に段取りできるようにして欲しい	緊急
7.	現在の避難所見直し(場所・管理・誘導・備品) 現在は水害時を想定した避難所環境が整備されていない 総点検して欲しい	緊急
8.	マンション住民の避難所確保 地下電源などインフラに被害あった場合にマンション住民用の避難所を確保して欲しい	緊急
9.	樋門閉鎖時の内水氾濫シミュレーション 樋門閉鎖時に一定雨量でどこで内水氾濫するのかシミュレーションして欲しい	緊急
10.	ハザードマップの改訂 上記シミュレーション結果を踏まえてハザードマップを改訂して欲しい	緊急
11.	樋門開閉操作判断基準改訂 逆流と水位差を検知する機器による客観的な判断基準を手順書に明記して欲しい	緊急
12.	JR横須賀線口冠水暫定対策の計画と実施 強力な台風が直撃してもその翌日には通常のJR運行が可能になるように事前の準備をJR協議の上準備し備えて欲しい	短期
13.	排水用ポンプ設置(川崎市被災地域の5/17箇所) 台風19号で氾濫した地域(5/17箇所)には排水用ポンプを設置して欲しい	短期
14.	樋門監視カメラの設置 流速モニターと共に遠隔地から多摩川の水位を監視できるカメラを設置して欲しい	短期

No.	要望項目	優先度
15.	下水道管の清掃 多摩川から逆流して溜まっている土砂の掃除を実施して流量容量を確保して欲しい	短期
16.	樋門監視操作環境整備 樋門開閉作業を行う作業員の安全確保のための施策を実施して欲しい	短期
17.	マンション住民も含めた周辺住民への緊急連絡手段の確立 樋門閉鎖の有無、及び樋門内地側の大気圧下での水位の情報を、適時に広くマンション住民含む周辺住民に告知できる緊急連絡手段を確立していただきたい	短期
18.	マンション予備電源/ポンプ 高層階への移設/増設費用補助 国が検討中のガイドラインに沿って早急な補助金交付が実現できるよう推進していただきたい	短期
19.	小河内ダム放流連絡後の樋門閉鎖手順ルール作成 多摩川上流からの水位上昇に備えるための手順書を見直して欲しい	短期
20.	台風襲来時の小河内ダムの事前放流の要請 東京都の利水ダムであろうとも、事前にある程度放流をして大雨時にダム押しで放流しないようにして欲しい その要請を川崎市からして欲しい	短期
21.	JR横須賀線口浸水恒久対策 超強力な台風が直撃しても内水氾濫しない完璧な治水対策を目標2023年のJR武蔵小杉駅改良工事に合わせて完了して欲しい	長期
22.	樋管バイパス設置 樋門閉鎖時でも市内の雨水を放流できるバイパスを設置して欲しい	長期
23.	貯留管新設/増設 地下の貯留管のキャパシティを増やして雨水氾濫の備えを強化して欲しい	長期
24.	樋門自動開閉装置設置 正確にかつ安全に自動開閉できるシステムを設置して欲しい	長期
25.	貯留池新設 貯留管新設と費用対効果で新設検討して欲しい	長期
26.	下水道管の増設/改良 旧式の下水管の新規下水管への改良・交換を推進して欲しい	長期
27.	丸子ポンプ場の雨水排水能力の向上 丸子ポンプ場に運ばれた丸子地区の雨水が、より多く多摩川へ排水可能になるよう、排水能力を向上して欲しい	長期
28.	川崎市から国交省へ要望 多摩川の浚渫(しゅんせつ) 多摩川の土砂を採掘して水容量を拡張して氾濫の備えとして欲しい	長期